科目番号	52016	分類	生殖健康学	履修者	高度実践助産コース	学年
科目名	ウィメンズヘルス特論 （Theory on Women's Health）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 前期

担当者	○朝澤 恭子　他３名	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	1	時間数	15

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 セクシュアリティ、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、女性のライフサイクルに沿った健康問題に対する助産ケアに必要な基礎的能力を養う。女性の健康を支援するための研究・実践への理解を深め、ウィメンズヘルスにおける助産ケアを追究する。 【目　標】 1．セクシュアリティ、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を説明できる。 2．思春期、成熟期、更年期に見られる健康問題と女性の健康への影響を説明できる。 3．受胎調節の実地指導に必要な原理・知識・技術を説明できる。 4．女性の健康に影響を及ぼす促進要因と阻害要因および助産ケアについて説明できる。		1.自律して自然分娩の支援ができる能力
		2.院内・院外助産システムを担うことができる能力
	○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力
		4.周産期の救急時に対応できる能力
	○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力
	○	6.研究・開発能力
	○	7.倫理的意思決定能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第1回	セクシュアリティ、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	朝澤 他３名
第２回	現代女性の健康問題とその支援①　思春期：月経異常、性感染症、健康支援ほか	
第3回	現代女性の健康問題とその支援②　成熟期：不妊症、乳がんの病態と診断、支援	
第4回	現代女性の健康問題とその支援③　成熟期：ドメスティックバイオレンス	
第5回	現代女性の健康問題とその支援④　更年期：更年期障害と生殖器系癌、健康支援、 ・老年期：骨粗鬆症、尿漏れ、萎縮性膣炎	
第6回	家族計画の概念・歴史・動向（妊孕教育、等）、各種避妊法の理論	
第7回	近年の避妊法の動向と実際	
第8回	各種避妊法の指導の実際	

事前・事後学習	事前学習：参考図書の該当部分を概観する。 事後学習：配布資料の復習および自己課題の加筆修正。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	レポート(50%)　プレゼンテーションおよびディスカッション50%
参考図書・資料等	◎家族計画指導の理論と実際 第３版 木村好秀　齋藤益子　医学書院　2025 参考図書は適宜紹介する。
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。